

授業科目名・形態	精神保健福祉援助演習Ⅰ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	阿部俊彦・石岡和志	実務経験の有無	無	開講期	3年前期

【授業の主題】

本講は、精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性（知識、技術、価値）の基礎を獲得する。

【到達目標】

精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性（知識、技術、価値）の基礎を獲得する。

【授業計画・内容】

具体的な課題別に、それぞれの事例や場面を材料に精神保健福祉課題を理解した上で、面接・アウトリーチ・ケアマネジメント・チームアプローチなどの具体的技術とアプローチを総合的・包括的に用いて、課題解決のための支援をすることができる実践力を養う授業内容である。特に、医療と協働・連携する相談援助事例を体系的に取り上げる。

- 第1回 オリエンテーション：精神科ソーシャルワークにおける事例とは何か、事例検討（演習）の進め方
- 第2回 ソーシャルワークの過程を通じた援助①：ケースの発見
- 第3回 ソーシャルワークの過程を通じた援助②：インテーク
- 第4回 ソーシャルワークの過程を通じた援助③：アセスメント
- 第5回 ソーシャルワークの過程を通じた援助④：プランニング
- 第6回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑤：支援の実施
- 第7回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑥：モニタリング
- 第8回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑦：支援の終結と事後評価
- 第9回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑧：アフターケア
- 第10回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑨：個別面接
- 第11回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑩：グループワークの展開
- 第12回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑪：ケア会議や関係者会議のコーディネートとマネジメント
- 第13回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑫：リハビリテーションプログラムの実施
- 第14回 ソーシャルワークの過程を通じた援助⑬：アウトリーチ、コミュニティソーシャルワークの展開
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には個人演習・グループ演習とする（必要に応じて講義形式を取り入れる）。

【授業準備】

教科書を読み、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。日頃から新聞などで報じられる精神障害者をはじめとする障害者の抱える問題に関心を持ち、ソーシャルワーク実践との関係について確認すること。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習指導、精神保健福祉援助実習、精神科ソーシャルワーク論、精神科リハビリテーション学ⅠⅡ、精神保健福祉援助技術各論ⅠⅡ、地域福祉論ⅠⅡ、福祉行財政と福祉計画

【教科書等】

日本精神保健福祉士養成校協会編：精神保健福祉援助演習〔基礎・専門〕（第2版）、中央法規出版、2016。

【参考文献】

授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（レポートなど）70%、グループワーク等への取り組み状況30%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

精神保健福祉士としての課題は精神障害者の生活問題に対応するために社会的復権と人権擁護の役割を担い、社会復帰を妨げているといわれる障壁を取り除き、地域社会の体制を整えることが挙げられる。利用者との「かかわり」を大事にする専門職の実践への準備ととらえて演習に臨むこと。